



## 子どもは観察の達人です!

「この道にはあさがおがいっぱいさいているね。」「『あ』がつく花だけど、あさがおじゃないよ。あじさいだよ。」「そうだった。あじさいだった。この色は昨日は咲いてなかったのに、今日は咲いてるね。」1年生の男の子とそんな話をしながら、今朝も線路下の色鮮やかなあじさいロードを歩きました。子どもは、観察の達人。通学路の小さな変化も見逃しません。

ある小学6年生の夏休みの自由研究がアメリカの権威ある生態学の雑誌に掲載されました。

その男の子はカブトムシが大好きで、幼い頃から、カブトムシを観察したり、本を読んだりしていました。そしてある日、夜行性のカブトムシが、なぜか昼間でも自宅の庭にある「シマトネリコ」の木にだけ集まっていることを不思議に思い、毎日細やかに観察を続けました。そしてその観察の結果をカブトムシの研究者である山口大学の先生に送りました。先生は、男の子の研究の価値に驚き、男の子との共同研究が始まりました。共同研究の結果は、論文にまとめられ、「新発見」として、権威ある雑誌に掲載されることになったのです。

素朴な疑問や気づきが探究心に火をつけることがあります。「なぜだろう」「どうしてだろう」「あれ、いつもと違うぞ」・・・そんな疑問や気づき、感性を大切にしたいものです。

### 待ちに待ったプール開き

6月7日から水泳指導を開始しました。コロナが5類に移行したことで、低・中・高学年単位で授業を行います。授業の回数は、昨年よりかなり多く、みるみる泳力が高まっていくのがわかります。3人以上の教員が支援する体制で、「安全第一」を心がけて指導します。



### 救急救命講習会の開催

今年度も岩国基地の消防隊の皆様を講師に迎え、保護者・教職員で救急救命講習を行いました。今年はひとり1体の人形を使って、手順を丁寧に確認することができました。講師の先生の熱く、またユーマアを交えた分かりやすいご指導に感謝でいっぱいです。



### ほんものは、素晴らしい

5月30日に民話芸術座による劇「カッパの笛」の鑑賞会を行いました。学校での芸術鑑賞会開催は実に3年ぶりです。舞台セット、衣装、音響、役者さんの表情や声色など迫力満点で、子どもたちは自然とお話の世界に引き込まれていきます。ものの善悪や独特の世界観を感じ取れるのも民話ならではのようです。鑑賞後の感想タイムでは、何人もの児童が積極的に感想を発表しました。芸術鑑賞は、情操教育に重要な場だと改めて感じました。ほんものは素晴らしい。



劇団代表あいさつ風景